

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	コミュニティ・スクール運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	コミュニティ・スクールの充実		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ボランティア実施回数	回
②	
③	

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① ボランティア登録者数	人
②	
③	

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① ボランティア参加人数	人
② 地域学校協働本部会議の開催	回
③	

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

子どもたちの学びや体験が充実するとともに、地域の人と人のつながりも深まり、持続可能な町づくりにもつながる。

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 地域学校協働活動に参加した学校数	校
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						484,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						647,179
	一般財源	円	0	0	0	0	0	7,034,472
	事業費計(A)	円						8,165,651
	正職員従事人数	人						4
人 件 費	人工数(業務量)	人工						0.1260
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	0	979,223
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	0	0	9,144,874
活動指標		① 回						104
		②						
		③						
対象指標		① 人						102
		②						
		③						
成果指標		① 人						289
		② 回						2
		③						
上位成果指標		① 校						6
		②						
		③						

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

- ・新型コロナウイルスによる行動制限が緩和(解除)されたことによる、活発な地域学校協働活動の実施。
- ・学校とCSコーディネーター、地域と学校との関係づくり。
- ・学校への学校支援ボランティア活動の理解浸透及び、活動の充実。

2. 今後の取組(2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法)

- ・CSコーディネーターが担当区の学校運営協議会の委員となり、学校課題の把握、支援に向けボランティアへのスムーズな調整、コーディネーターの活動の周知などを行う。
- ・学校と連携を密にし、新しいメニューの支援拡充に力を入れ、活発な活動につなげていく。
- ・町民やPTAなどへの広報活動とボランティア登録の呼びかけを行い、SNSを活用して活動の様子を発信していく。
- ・ボランティア登録者と学校(教諭・生徒・児童)との意見交流を行い、活動に対する共通理解につなげる。

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

郷土資料の収集・保管・展示を行うとともに、体験学習や歴史館講座等の普及活動をとおして、地域の歴史・文化を後世に伝えることを目的に施設の運営を行っていく。開館から20数年が経過し、展示器機や施設設備に経年劣化が見られるほか、展示等の表記内容についても見直しが必要な部分も見られることから、計画的に更新を図っていく必要がある。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の歴史・文化を伝える郷土資料館としての機能を維持するため、修繕対応や展示内容の見直しなどを計画的に実施していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	193,504	202,707	204,163	0	39,292	183,613
	一般財源	円	18,505,568	5,448,354	5,654,782	4,253,005	4,500,788	7,117,643
	事業費計(A)	円	18,699,072	5,651,061	5,858,945	4,253,005	4,540,080	7,301,256
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1221	0.1169	0.1226	0.2118	0.1267	0.1875
	人件費計(B)	円	949,885	911,581	983,062	1,681,146	986,963	1,457,177
トータルコスト(A+B)		円	19,648,957	6,562,642	6,842,007	5,934,151	5,527,043	8,758,433

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

体験型の郷土資料館としての特を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供するとともに、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることを目的とした講座、展示等の事業を実施する。

事業のマンネリ化が課題となっており、ものづくり体験に関しては、歴史館らしさを意識した体験メニュー作りを行うとともに、歴史館講座や特別展示など、郷土資料館としての役割である町民に対する普及活動の充実を図っていく必要がある。また、2022年度には、コロナ禍の影響により実施を見送ってきた「ねんりんフェスティバル」を2月に開催し、今後も開催時期やテーマなどを検討しながら継続的に実施していく。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の歴史・文化を後世に継承していくことを目的に、郷土資料の収集・保管や展示、調査研究を行い、その成果を町民に還元することを目的とした講座や特別展示等の事業の充実を図っていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	366,578	369,152	380,449	389,468	376,718	394,981
	一般財源	円	3,062,216	3,141,638	3,200,019	3,277,273	2,984,253	3,543,364
	事業費計(A)	円	3,428,794	3,510,790	3,580,468	3,666,741	3,360,971	3,938,345
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0661	0.0706	0.0786	0.1544	0.1248	0.1552
	人件費計(B)	円	514,229	550,535	630,250	1,225,538	972,163	1,206,154
トータルコスト(A+B)		円	3,943,023	4,061,325	4,210,718	4,892,279	4,333,134	5,144,499

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

各家庭教育学級への支援(補助金の支出と学習内容に関する助言)と、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。働く母親が増え、学級生の人数減少や役員のなり手不足など、家庭教育学級単体での活動が難しくなっている学級もある。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

親同士のつながりだけではなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。2021年度から、開設条件に各家庭教育学級における地域学校協働活動の実施を追加した。

各学級と「家庭教育」及び「家庭教育支援」について共通認識を持ち、連携して子育て世代の仲間づくり、家庭教育の充実を図る。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	333,504	335,566	328,536	35,000	88,788	179,643
	事業費計(A)	円	333,504	335,566	328,536	35,000	88,788	179,643
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0613	0.0788	0.1094	0.0254	0.0591	0.0530
	人件費計(B)	円	476,887	614,479	877,218	201,610	460,375	411,895
トータルコスト(A+B)		円	810,391	950,045	1,205,754	236,610	549,163	591,538

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	茅室町PTA連合会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

PTA連合会への活動費の助成。

会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催。
 なお、2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況により、補助金支出の事業の実施がなかつたため
 年度途中に町補助金を返戻。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

教育効果を高めるため、活動内容の見直しを行ったので、今後の活動状況を見守っていく。

過去2年間、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって事業縮小・中止が続いている、社会情勢を捉えつつ、安全面に配慮した会の運営を支援していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	477,625	414,801	437,315	38,874	86,166	245,776
	事業費計(A)	円	477,625	414,801	437,315	38,874	86,166	245,776
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0116	0.0177	0.0042	0.0076	0.0076	0.0023
	人件費計(B)	円	90,243	138,024	33,677	60,324	59,202	17,875
トータルコスト(A+B)		円	567,868	552,825	470,992	99,198	145,368	263,651

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	学習活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

知識や経験のあるものを生涯学習推進アドバイザーに委嘱し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。

主に、高齢者学級「めむろ柏樹学園」の運営などを担う。

生涯学習推進アドバイザーとして知識や経験のある方を雇用するのが難しくなってきている。

芽室町総合情報誌「すまいる」に町の教育情報を掲載し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に情報発信していくためには工夫が必要である。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

アドバイザーについては、良い人材を集めための工夫が必要。

力を入れて発信すべきところと、削減できるところを見極め、限られた予算の中でメリハリをつけた誌面構成にする。

QRコードの活用をし、伝えたい内容を絞りHPと連携した紙面構成をして読みやすい文章を作成する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円			467,000	724,000	555,000	
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			935,501	768,867	1,132,504	604,803
	一般財源	円	0	0	9,484,388	7,435,335	10,972,577	8,054,872
	事業費計(A)	円			10,886,889	8,928,202	12,660,081	8,659,675
人件費	正職員従事人数	人			4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工			0.1527	0.2985	0.0434	0.1091
	人件費計(B)	円	0	0	1,224,417	2,369,320	338,076	847,883
トータルコスト(A+B)		円	0	0	12,111,306	11,297,522	12,998,157	9,507,558

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	旧集団研修施設「かっこう」維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

〔事業の概要・現状・課題〕

廃校となった美生小学校校舎を再利用し、青少年の活動拠点として整備された施設であったが、町民利用の減少及び施設の老朽化による維持管理費が高額であること、さらに社会教育事業の推進において本施設を活用した事業等の計画見通しを立てていない状況であることから、庁内で検討した結果、2021年度末で社会教育施設としての供用を終了し、教育財産から普通財産へ移行した。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	578,050	541,200	534,850	177,550	187,200	
	一般財源	円	6,072,755	7,146,690	5,807,999	7,498,593	6,384,277	436,187
	事業費計(A)	円	6,650,805	7,687,890	6,342,849	7,676,143	6,571,477	436,187
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1378	0.1369	0.1725	0.2089	0.1522	0.0183
	人件費計(B)	円	1,072,024	1,067,540	1,383,182	1,658,127	1,185,602	142,220
トータルコスト(A+B)		円	7,722,829	8,755,430	7,726,031	9,334,270	7,757,079	578,407

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	郷土芸能メムオロ太鼓保存会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

[事業の概要・現状・課題]

町の郷土芸能であるメムオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メムオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。

会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなってきた。会員(打ち手)の減少や指導者の確保などの課題が継続している。

温水プールの改築と総合体育館一帯の施設再整備のため、2022年3月に活動場所を芽室町勤労青少年ホームから芽室町中央公民館に移した。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

会の運営がスムーズに進むよう、また、会員の確保に向けての助言を行っていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	82,920	0
	事業費計(A)	円					82,920	
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0011	0.0008	0.0016	0.0005	0.0091	0.0025
	人件費計(B)	円	8,558	6,238	12,830	3,969	70,887	19,429
	トータルコスト(A+B)	円	8,558	6,238	12,830	3,969	153,807	19,429

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進		
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

〔事業の概要・現状・課題〕

芸術・文化活動の振興を目的とし、小中高生が芸術・文化活動において上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を行う。また、芽室町文化協会、文芸誌編集委員会、めむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。

芸術・文化団体については、

文化協会の活動については、所属団体・加入会員数の減少及び役員の高齢化や担い手不足という課題がある。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

コロナ禍で停滞しがちであった各芸術・文化団体の活発化を支援する。

文化協会の現状課題解決に向け、協会の役割及び中長期的目標について協会と共有する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,644,158	2,622,115
	事業費計(A)	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,644,158	2,622,115
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0592	0.0676	0.0928	0.0819	0.0934	0.0694
	人件費計(B)	円	460,550	527,142	744,112	650,075	727,564	539,350
トータルコスト(A+B)		円	847,493	1,909,371	2,941,005	1,357,882	2,371,722	3,161,465

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進		
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

[事業の概要・現状・課題]

町民に対して、音楽や伝統芸能、演劇などの芸術に触れる機会を提供するために、その分野のプロ(専門家)を招いて文化芸術鑑賞会を開催する。

演目の選定については、2015年度から町民の委員による内容検討会議を、また、2019年度から実行委員会に変更し、幅広い年代の町民から意見をもらうことで、町民のニーズに合った鑑賞会を実施している。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

・2015年度から実施してきた「内容検討会議」を2019年度から「実行委員会」に変更し、委員には芸術鑑賞会の演目選定だけではなく運営にも携わってもらう。運営に携わってもらう中で、今後の実施主体の検討も行うこととする。

・「一流を見て・聴いて、学ぶ」機会を提供するため、2020年度から3年に1度予算を増額し、一流の演者の招聘を行う。また、2021年度開催の芸術鑑賞会から、高校生以下の入場料を無料とする。

・鑑賞会の周知方法やチケットの購入方法等、入場者数増加の工夫を検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	236,500	708,000	764,000	100,000	2,910,000	70,000
	一般財源	円	852,551	795,605	1,405,365	74,267	3,646,238	1,534,164
	事業費計(A)	円	1,089,051	1,503,605	2,169,365	174,267	6,556,238	1,604,164
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.2314	0.2527	0.1705	0.1124	0.0839	0.1452
	人件費計(B)	円	1,800,191	1,970,542	1,367,146	892,166	653,561	1,128,438
トータルコスト(A+B)		円	2,889,242	3,474,147	3,536,511	1,066,433	7,209,799	2,732,602

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	公民館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

各種公民館講座及び指定管理者が行う自主事業の企画・実施にあたり、指導助言を行う。
 指定管理者との連絡を密に図り、町民ニーズ等を反映した公民館運営を行う。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

指定管理者の事業提案を踏まえたうえで、公民館講座や企画展示、自主事業などの各種事業への指導助言を行う。行政と指定管理者、各種団体等との橋渡し役となる社会教育主事の資格を有する職員の育成を目的に、資格取得講習へ職員を派遣する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0384	0.0368	0.0014	0.0046	0.0683	0.1439
	人件費計(B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512	532,041	1,118,335
	トータルコスト(A+B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512	532,041	1,118,335

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 開館日数	日
②	
③	

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民数	人
②	
③	

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 公民館の利用者数	人
②	
③	

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

町民が生涯学習に取り組むことにより、心豊かな地域社会が実現し、住みよい地域づくりにつながる

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	%
② 文化活動がしやすいと思う住民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	2,835,798	6,933,447	5,614,190	2,213,026	6,121,721	3,636,787
	一般財源	円	38,590,876	73,944,838	42,795,501	49,208,980	49,347,581	44,703,619
	事業費計(A)	円	41,426,674	80,878,285	48,409,691	51,422,006	55,469,302	48,340,406
	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人 件 費	人工数(業務量)	人工	0.1128	0.1488	0.1695	0.1660	0.1705	0.0722
	人件費計(B)	円	877,535	1,160,335	1,359,127	1,317,612	1,328,155	561,110
	トータルコスト(A+B)	円	42,304,209	82,038,620	49,768,818	52,739,618	56,797,457	48,901,516
活動指標	①	日	352	352	352	315	284	353
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,430	18,268	18,117	17,983
	②							
	③							
成果指標	①	人	84,908	77,037	75,786	40,483	48,162	62,434
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	39.1	38.4	75.4	80.0	76.0	81.2
	②	%	42.2	41.6	74.3	77.4	73.0	76.0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

町民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。2022年から教育支援センター「ゆうゆう」とめむろ町民活動支援センターが公民館に移転した。

2. 今後の取組(2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法)

- ・中長期的な視点に立ち、計画的な施設修繕等を行い、施設の適正な管理を行う。
- ・令和7年度からの次期5年間の指定管理者選定に向け、令和6年度中に施設管理に関する仕様及び指定管理委託料を策定し、業務の担い手を選定する。

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	高齢者学級「柏樹学園」開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	高齢者等活き活き推進事業		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供する。
月に1~2回程度の通常の学習日には、午前は学習(聴講)、午後は実技(クラブ活動)を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
① 活動時間		時間
② 学習成果の発表		回
③ クラブ数		クラブ

2. 対象(何を対象にしているか)

町内在住の65歳以上の方

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
① 65歳以上の町民		人
②		
③		

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

仲間とともに生き生きと楽しく学び、交流してもらう。

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
① 参加人数		人
②		
③		

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

柏樹学園での活動を通して、生きがいのある豊かな人生を送ってもらう。

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
① 入園する割合		%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	440,000	404,000	378,000	332,000	308,000	272,000
	一般財源	円	1,048,914	1,061,635	1,185,129	1,120,696	1,006,577	853,770
人 件 費	事業費計(A)	円	1,488,914	1,465,635	1,563,129	1,452,696	1,314,577	1,125,770
	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0834	0.0475	0.0369	0.0827	0.0318	0.0404
	人件費計(B)	円	648,816	370,403	295,881	656,425	247,715	0
トータルコスト(A+B)		円	2,137,730	1,836,038	1,859,010	2,109,121	1,562,292	1,125,770
活動指標	① 時間		57	57	55	55	50	57
	② 回		2	2	2	2	1	2
	③ クラブ		12	12	12	11	11	10
対象指標	① 人		5,348	5,429	5,466	5,498	5,502	5,493
	②							
	③							
成果指標	① 人		214	203	185	162	149	136
	②							
	③							
上位成果指標	① %		4	4	3	3	3	2
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

- ・柏樹学園生の減少、高齢化
- ・地域人材の発掘、育成
- ・ニーズにあわせた学習機会の創出
- ・高齢者人口の増と多様化への対応

2. 今後の取組(2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法)

- ・興味ある講義等の実施、ニーズの把握及び1日体験入園の実施(柏樹学園)
- ・学校支援ボランティア等(地域指導者人材バンク派遣事業の補完)を通した人材の確保、育成
- ・公民館、体育施設での講座等を通しての人材の育成、発掘(指定管理者や他課との連携)
- ・高齢者の経験、知恵等を生かした人材の確保
- ・「社会教育主事」講習を通し、その役割に即した行政と各種団体等との橋渡し役を行う職員の育成

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育委員会運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

事業概要と現状社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。

- ①社会教育に関する諸計画を立案すること
- ②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること
- ③これらのために必要な研究調査を行うこと

町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知や地域学校協働活動などへの参加も含め、社会教育委員活動の「見える化」を進めていく。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

実践する社会教育委員として、各社会教育事業等へ参加してもらい、社会教育事業への意見や提案を活発にしてもらえるように環境を整えたい。2023年5月末で社会教育委員が任期満了となることから、新たな委員を選任する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	931,986	706,108	705,152	266,150	297,204	468,908
	事業費計(A)	円	931,986	706,108	705,152	266,150	297,204	468,908
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3963	0.1417	0.3319	0.1837	0.1534	0.1354
	人件費計(B)	円	3,083,042	1,104,970	2,661,323	1,458,104	1,194,950	1,052,276
トータルコスト(A+B)		円	4,015,028	1,811,078	3,366,475	1,724,254	1,492,154	1,521,184

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

[事業の概要・現状・課題]

単位社会教育協会に対して活動助成金を交付する等の支援を行うほか、連絡協議会の事業として視察研修や地域づくり研修会を開催し、単位社会教育協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。

農村保育所の閉所にともない、単位社会教育協会と農村保育所合同で行われていた地域の運動会が実施されなくなったことに加え、地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響で活動規模の縮小を進めている協会が増えてきており、年間の行事が総会と環境整備のみとなってしまっている協会もある。

なお、2023年度から中央西地域社会教育協会と坂の上社会教育協会が解散(休会)となった。(R5時点で14単位会)

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

連絡協議会の事業として日帰り・一泊二日の視察研修会を交互に隔年で実施されていたが、視察研修会という学習スタイルについて、時代に即しているか疑問であり見直すべきとの意見があり、2022年度から視察研修会は中止とした。

また、今後の社連協の在り方についても、各単位の意見等を聞き取りながら再構築の検討が必要となってくる。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	855,300	696,235	855,300	630,007	624,537	633,766
	事業費計(A)	円	855,300	696,235	855,300	630,007	624,537	633,766
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0565	0.0740	0.0755	0.0603	0.0551	0.0383
	人件費計(B)	円	439,545	577,048	605,393	478,626	429,216	297,653
トータルコスト(A+B)		円	1,294,845	1,273,283	1,460,693	1,108,633	1,053,753	931,419

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	ジモト大学の積極的推進		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メムオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、奈井江町児童生徒との標語作品交流、ジモト大学

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業数	回
②	
③	

2. 対象(何を対象にしているか)

芽室町内在住の児童・生徒

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数	人
②	
③	

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数のうち事業に参加した人数	人
②	
③	

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

各種体験活動や研修事業をとおして、児童生徒の豊かな心の育成を図る。

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 児童生徒のうち事業に参加した者の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	444,580	563,382	442,210	378,715	409,854	725,230
	一般財源	円	1,622,409	2,042,334	2,179,983	4,169,384	4,412,335	2,064,143
	事業費計(A)	円	2,066,989	2,605,716	2,622,193	4,548,099	4,822,189	2,789,373
	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人 件 費	人工数(業務量)	人工	0.6286	0.5953	0.5262	0.6722	0.6980	0.7964
	人件費計(B)	円	4,890,235	4,642,121	4,219,308	5,335,534	5,437,257	6,189,310
	トータルコスト(A+B)	円	6,957,224	7,247,837	6,841,501	9,883,633	10,259,446	8,978,683
活動指標		① 回	9	9	9	4	7	10
対象指標		②						
③								
① 人		人	1,836	1,805	1,751	1,719	1,672	1,591
②								
③								
① 人		人	408	451	344	102	122	295
②								
③								
① %		%	22.2	25.0	19.6	5.9	7.3	18.5
②								
③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。

集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。

少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。

2. 今後の取組(2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法)
ジモト大学については以下2点を目標に、事業関係者の拡大を目指す。

- ・町内高校2校との連携企画を実施
- ・芽室駅前に中高生を呼び込み、地域住民との交流機会が創出される、中高生が実施主体となる企画を実施

各事業の実施によりどのような変容・成果が見られたか、活動量等の数値的表現または参加者の感想等言語的表現により、体験的活動及び集団的活動の価値の明確化を図る。

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	新型コロナウイルス対策社会教育事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

新型コロナウイルス感染対策として、中央公民館感染予防用パーテーションの購入及び展示ホール網戸設置、図書館トイレ改修工事を実施した。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円				7,315,000	6,267,727	1,998,040
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	219,795	261,873	0
	事業費計(A)	円				7,534,795	6,529,600	1,998,040
人件費	正職員従事人数	人				8	7	6
	人工数(業務量)	人工				0.0318	0.0210	0.0066
	人件費計(B)	円	0	0	0	252,410	163,585	51,293
トータルコスト(A+B)		円	0	0	0	7,787,205	6,693,185	2,049,333

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	生涯学習推進中期計画策定委員会運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

[事業の概要・現状・課題]

本計画は「第2期芽室町教育振興基本計画」の社会教育分野に特化した計画であり、町民で構成された中期計画策定委員会による協議やパブリックコメントの実施など、住民と行政の協働の体制をとりながら計画策定を進めた。※計画期間:令和5年度～8年度

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	148,116
	事業費計(A)	円						148,116
人件費	正職員従事人数	人						4
	人工数(業務量)	人工						0.0305
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	0	237,034
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	0	0	385,150

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡回活動、広報誌の発行、3つの心運動の推奨に係る取組。課題として、会の構成団体の減少などがある。また、他の団体との活動内容の類似するものがある。「子ども110番の家」の依頼・旗の設置に関する業務については、2021年度から環境土木課に移管。

なお、毎年、会員にアンケートを実施し、会の活動内容の検証・見直し等を行っている。2021年度から、専門委員会の体制を指導育成委員会、健全育成委員会、広報調査委員会の3体制から指導育成・健全育成を合併した(新)健全育成委員会、広報調査委員会の2専門委員会へ見直した。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

2022年度以降の町民集会については、PTA連合会と連携して開催する。また、2022年度から新たに「SDGsの理念」を推進する取組として、3つの心運動のポスター、標語の募集について「SDGs」の周知に係る内容も含めて募集している。

また、青少協の広報活動について、広報誌や新聞折込により周知していたが、掲載スペースの制限及び新聞購読者の減少などの背景から、ポスティングを活用した全戸配布を検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	585,000	610,000	547,405	377,744	348,402	428,056
	事業費計(A)	円	585,000	610,000	547,405	377,744	348,402	428,056
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0115	0.0153	0.0335	0.0406	0.0101	0.0285
	人件費計(B)	円	89,465	119,309	268,618	322,259	78,677	221,491
トータルコスト(A+B)		円	674,465	729,309	816,023	700,003	427,079	649,547

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	地域子ども会育成連絡協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない

[事業の概要・現状・課題]

事業の概要

- ◎地域子ども会育成連絡協議会への補助金の支出
- ◎地域子ども会育成連絡協議会の事務局業務
 - ・単位子ども会への活動助成金の交付
 - ・わくわく体験塾の開催
 - ・西部十勝子ども会交流会への参加

現状・課題

- ・子ども会加入者数の減少や役員のなり手不足により、活動を休止する単位会が年々増えてきている。
- ・地域で子どもを育てるという意識・機運が低下している。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

- ・コロナ禍で途絶えていた対面での集団的活動、体験的活動から生まれる子どもの成長や地域の変化について、参加者数等の数値表現または関係者の感想等の言語的表現にて整理することで、芽子連活動の目的及び意義を関係者内で改めて共有し、今度の本団体コミュニティの強化につなげる。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	300,000	372,487	390,793	290,110	412,990	273,675
	事業費計(A)	円	300,000	372,487	390,793	290,110	412,990	273,675
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1909	0.1773	0.2730	0.1726	0.2253	0.0369
	人件費計(B)	円	1,485,119	1,382,577	2,189,037	1,369,999	1,755,034	286,772
	トータルコスト(A+B)	円	1,785,119	1,755,064	2,579,830	1,660,109	2,168,024	560,447

2023年度(2022年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	中学生国際交流事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。

2019年度以降のトレーシー市への訪問団派遣、および2020年度以降のトレーシー訪問団来町については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。

訪問団の相互派遣が4年続けて中止となっているため、トレーシー市との交流や訪問団員への応募などトレーシーについて身近に感じられないことも考えられる。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

引き続き相互派遣交流の実施のため、トレーシー市姉妹都市協会との連携を図る。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を受け、2023年6月のトレーシー訪問団受入については、中止を決定。2024年3月想定の派遣については、トレーシー市姉妹都市協会との協議の上、6月中に実施の可否について決定する予定。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	780,540	779,640	0	0	0	0
	一般財源	円	3,430,744	3,641,037	1,211,796	56,518	0	0
	事業費計(A)	円	4,211,284	4,420,677	1,211,796	56,518	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3877	0.3316	0.2529	0.0093	0.0031	0.0032
	人件費計(B)	円	3,016,137	2,585,801	2,027,866	73,818	24,148	24,869
トータルコスト(A+B)		円	7,227,421	7,006,478	3,239,662	130,336	24,148	24,869

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	二十歳を祝う会開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

成人を対象とする式典の実施。出席者全員での記念撮影、中学校時代の恩師らを囲んでの交流会を開催している。民法が定める成人年齢が令和4年度から18歳に引き下げられたことを受け、従前20歳に達する年度の1月に実施していた成人式について、対象者や実施時期について検討した結果、民法改正後も20歳に達する年度で式典を開催することとした。

そのため、令和5年1月開催分から名称を「二十歳を祝う会」に変更し、開催している。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

芽室町に愛着を持ってもらえるような企画の実施。

令和3年度から毎年町内3中学校の中学生在籍時に5年後の自分へのメッセージを作成して写真を撮影。それを動画編集し、5年後の式典で上映する企画を町内3中学校に提案し、実施している。

成人年齢引き下げに伴う式典の名称を変更。芽室町として、令和4年度以降の式典の対象年齢は、現在と同様に20歳を対象にすることを決定したことに伴い、名称が変更することを令和3年10月に周知した。今後も継続して町広報、SNSなどを通じて式典の開催を町民に周知していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	202,577	188,986	211,584	0	263,006	171,244
	事業費計(A)	円	202,577	188,986	211,584	0	263,006	171,244
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0524	0.0560	0.0393	0.0195	0.1254	0.0506
	人件費計(B)	円	407,649	436,685	315,125	154,780	976,837	393,243
	トータルコスト(A+B)	円	610,226	625,671	526,709	154,780	1,239,843	564,487

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護管理事務	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

町内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地等の現況を適切に把握することで、開発行為等が計画された時点で提出される埋蔵文化財保護のための事前協議に対して、適切に対応する。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町内で行われる開発行為に対し、文化財保護の観点から事前協議等に対する調査・回答は、北海道教育委員会発出の「土木工事等に伴う埋蔵文化財保護の流れ」に従って対応する。調査実施にあたっては専門的な見地からの判断が求められることから学芸員資格(考古学)を有する職員が対応する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	924,000
	事業費計(A)	円						924,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0164	0.0326	0.0290	0.0711	0.0226	0.0409
	人件費計(B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351	176,049	317,859
	トータルコスト(A+B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351	176,049	1,241,859

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

町内の文化財の保護及び活用に向けて方策を審議するため、文化財保護審議会を開催する。

町指定天然記念物である芽室公園のカシワ林の保護を継続して実施している。

文化財保護に関する見識を深めることを目的に、審議会の開催に合わせて管内の博物館施設等の視察を行っている。現在、5名の審議委員を選任(任期:令和6年3月末まで)。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町として保護・指定すべきと考える文化財の掘り起こし、候補選定に向けた準備を進めるほか、郷土資料の展示、保管施設であるふるさと歴史館の今後の利活用について議論を行い、会議の活発化を図る。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	14,976	18,350	15,050	14,458	11,158	94,758
	事業費計(A)	円	14,976	18,350	15,050	14,458	11,158	94,758
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0307	0.0217	0.0106	0.0175	0.0199	0.0465
	人件費計(B)	円	238,833	169,216	84,996	138,905	155,016	361,380
トータルコスト(A+B)		円	253,809	187,566	100,046	153,363	166,174	456,138

2023年度（2022年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化賞等授賞式典開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]

文化活動において、優秀な成績・功績を納めた町内の個人及び団体に対し、年1回3月に授賞式典を開催する。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により2019～2021年度は式典を中止したが、2022年度は3年ぶりに開催した。

[2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法]

受賞候補となる大会等が多様化していることから、必要に応じて表彰基準の見直しについても検討し、授賞者の取りこぼしのないよう対応していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	115,736	158,251	182,506	42,878	108,273	149,539
	事業費計(A)	円	115,736	158,251	182,506	42,878	108,273	149,539
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0586	0.0960	0.0664	0.0333	0.0425	0.0673
	人件費計(B)	円	455,883	748,603	532,425	264,316	331,065	523,029
トータルコスト(A+B)		円	571,619	906,854	714,931	307,194	439,338	672,568